



# 千代田

〒400-0082 山梨県甲府市下帯那町3034-2 TEL 055-251-8059 FAX 055-251-8067 E-mail : [chiyoda-e@kofu-ymn.ed.jp](mailto:chiyoda-e@kofu-ymn.ed.jp)

令和5年(2023年)7月20日 発行責任者 校長 篠原利明



## 千代田小ブログ2023



左記のQRコードから日々の子供たちの様子がご覧になれます

## 1学期が終わります!

### ～ご協力ありがとうございました～

72日間の一学期がいよいよ終わります。振り返るとどんなときも子供たちと教職員が一つになって、一緒に前に進んできた一学期でした。こうして無事に一学期を終えることができること、さらに子供たち一人一人が一段と逞しくなり、成長できたことは、学校の教職員の力だけではなく、保護者の皆様、地域の皆様のあたたかいご協力のおかげだと感じています。本当にありがとうございました。子供たちは明日から学校を離れ、家庭に戻り、夏休みを迎えます。健康で安全に充実した夏休みとなるよう、それぞれのご家庭でお子さんとの夏休みの過ごし方についてよくお話をしてください。

終業式では、一学期を振り返る写真や動画を視聴した後、次のような話をしました。

おはようございます。一学期も今日で終わりです。4月6日、全校児童15名の子供たちと16名の先生方でスタートしました。途中三浦先生が加わり、教職員は17名となりました。17名の先生と、「一人一人の子供たちが主役となって活躍できるように、全員の子供たちを全員で指導していきましょう。」と心一つにして頑張ってきました。その期待に応えて皆さんは一人一人がいつも「やればできる」と自分の力を信じて、間違いを怖れずに、たくさんの方にチャレンジして、その結果、できるようになったことがたくさんあったと思います。これはとてもうれしいことでした。

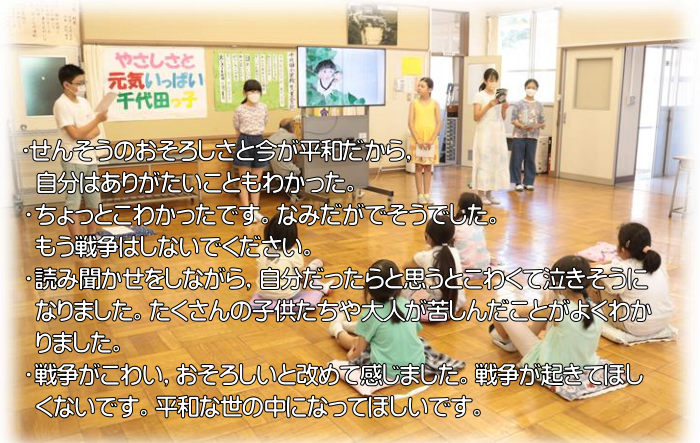
毎日の生活の中ではうれしかったことばかりではなく、悔しかったことや悲しかったこともあったと思いますが、そのすべての経験が皆さんを大きく成長させてくれましたね。そう考えると学校で周りに励ましてくれる友だちがいて、困ったときに助けてくれる先生がいること、当たり前なことですが、その中で学んだり、生活できたりすることは、とても幸せなことだと思いませんか?

校長先生は、皆さんが一番頑張ったことがあると思います。それはお友達を大切にしたということです。これは、一番うれしいことでした。いじめも0でした。このことを千代田小学校の一番の強み、一番いいところにこれからもしていきませんか?いつも安心して、学んだり、生活したりできる。自信をもって自分の言いたいことが言える。そして自分の良さをみんながほめてくれる。これからもそんな学校をみんなで作っていきましょう。

さあ、明日から夏休みです。全員が「自分が主役の輝く夏休み」にするために、やりたいことを決め、そして目標も決めたとします。その目標に向かって夏休みの一日一日を大切に積み重ねていってください。そのことがさらに自分自身を成長させることにつながっていきます。一番大切なのは、自分の命を守り、健康で安全に過ごすということです。また、元気に8月28日に会いましょう。

## 平和な世の中に・・・

ホームページの千代田小ブログでも紹介しましたが、7月6日(木)に平和集会が行われました。7月6日は今から78年前に甲府空襲があった日です。甲府市内が火の海となったこの出来事が描かれた絵本「かみず」の読み聞かせを5、6年生がしてくれました。子供たちは次のような感想を書いていました。



- ・せんそうのおそろしさと今は平和だから、自分はありがたいこともわかった。
- ・ちょっとこわかったです。なみだがでそうでした。もう戦争はしないでください。
- ・読み聞かせをしながら、自分だったらと思うとこわくて泣きそうになりました。たくさんの子供たちや大人が苦しんだことがよくわかりました。
- ・戦争がこわい、おそろしいと改めて感じました。戦争が起きてほしくないです。平和な世の中になってほしいです。

この日正午には、防災放送での甲府市長の平和を祈るお話の後に全校児童が活動を一旦止めて、それぞれの場所で、戦争で亡くなられた方々へのご冥福を祈って黙祷を捧げました。平和週間の取り組みでは、この他にも戦争をテーマにした本の展示や平和を願う折り鶴づくりが児童会の活動としても進められました。戦争のない平和の世の中になりますように・・・と願いを込めておられた折り鶴は、上級生がひとつにまとめ、甲府市少年議会をとおして広島平和祈念式典に届けられます。



## いじめ0を続けていくために・・・



7月13日(木)5校時に全校児童がブレイルームに集まりました。全校で道徳授業を行うためです。低学年が高学年の児童の考えを真剣に聞いたり、高学年が低学年の児童の考えを聞いて「いいね!」と認めたり、6年間の子供たちの成長を考えたときに、このような全校での学び合いはと

ても大切だと改めて感じました。そして全員の意見が尊重され、生かされる千代田小学校のこの学びの風土は大きなセールスポイントです。これからもこのような取り組みが様々な学習の場面で生かされていくとよいと思いました。授業の中ではchromebookのjamboardというアプリを使って、考えを出し合い、真剣に考えていました。以下のようなすばらしい考えが出され、活発に意見交換を行い、お互いの意見には大きな拍手で称賛するすばらしい授業でした。

### 「いじめ0を続けていくために・・・」

- ・がんばっていることをじゃましない。
- ・たすけあう。・ありがとうを言う。
- ・自分の嫌なことはしない
- ・相手の気持ちを考えて行動する。
- ・だれかが困っていたら助ける。
- ・わからないことを教えてあげる。

### 「友だちが失敗したときどんな言葉をかける?」

- ・だいじょうぶ。・つぎはできるよ!
- ・わらってがんばろう! ・失敗は成功のもとだよ!
- ・誰だって失敗するよ。・次はできるよ!
- ・とりもどそう! ・まちがいはふつう!
- ・あきらめないで。もう一回チャレンジしよう!
- ・やればできる。・私もよく失敗するから大丈夫だよ。
- ・私も手伝うから大丈夫だよ。

授業後の感想発表では、「千代田小学校はこれまでもいじめのないいい学校だったけれど、もっといい学校にできると思った。」「今日の授業を通して、これからもみんなのアイデアを出し合えば、何があっても大丈夫と思った。」など全校みんなの心が一つになったいい授業でした。優しい子供たちに囲まれて私たち教師も幸せな気持ちになりました。これからも一人一人が主役となり、時に主役の仲間をサポートし、助け合いながらチームとして前に進んでいきたい・・・。いや、進んでいけると確信をした一時間となりました。

## ありがとうの花をもっと咲かせよう!



児童会では当たり前毎日楽しく生活できていることに、もっとみんなが「ありがとう」の思いをもってほしいと、児童玄関前のモニターにメッセージを作って、呼びかけています。学校放送では、当番児童が「

ありがとうの花」の紹介をしていました。たくさんの「ありがとう」が集まり、「宣伝の効果抜群!」と喜んでいました。一学期最後の日にもありがとうBOXにたくさんのメッセージが入れられていました。

## スマホ・ゲームから離れた夏休みを!

長期の休業では、ついつい長時間オンラインゲームや携帯電話のゲーム、ユーチューブの動画などを見がちになってしまふことがあります。これでは、目や体等健康上にもよくありません。



ゲーム自体を娯楽として楽しむ分にはまったく問題ありませんが、ゲームをやりすぎてゲーム障害になると、生活するうえでも支障が出てくるとわれています。朝起きられない、昼夜逆転、成績低下、学校の欠席、不規則な食事などが挙げられます。ゲーム障害患者の平均ゲーム時間は、平日6時間、休日7時間と、生活の多くの時間をゲームに費やしています。

学校では「スマホ・ゲームから離れた生活を」をテーマに一定期間、児童玄関で動画を放映しました。また学級でも自分の時間の使い方について学習しました。夏休みの期間は家で過ごす時間が長くなることから、ゲーム時間

の増加が心配です。家庭でのゲーム時間のやくそくを守れない場合は、子供がゲームをしたい気持ちを理解しながら、このままだと何がよくないのか、ぜひお子様と一緒に考えてください。

### どうしたらいい?

**自分の時間のつかい方を考えてみよう**

ゲームの時間を大切にすることは悪くありません。ただ、ゲームのなかでの活躍や努力は、ほとんど現実にもつてくることができません。ゲームの世界に入りこんでいるとき、あなたの現実の時間は止まっています。時間をずっと止めてしまうと、現実にもどるのがつからなくなってしまいます。パランスのいい時間のつかい方を考えましょう。

学校だより「千代田」は千代田小学校の教育活動を知っていただき、学校・家庭・地域が共に手を携えながら子供たちのよりよい成長のために前に進んでいけるようにと願いながら発行をします。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。  
学校便りホームページ版は右記QRコードよりご覧いただけます。

